



働き続けられる仕事の体制を、今考えてみよう！

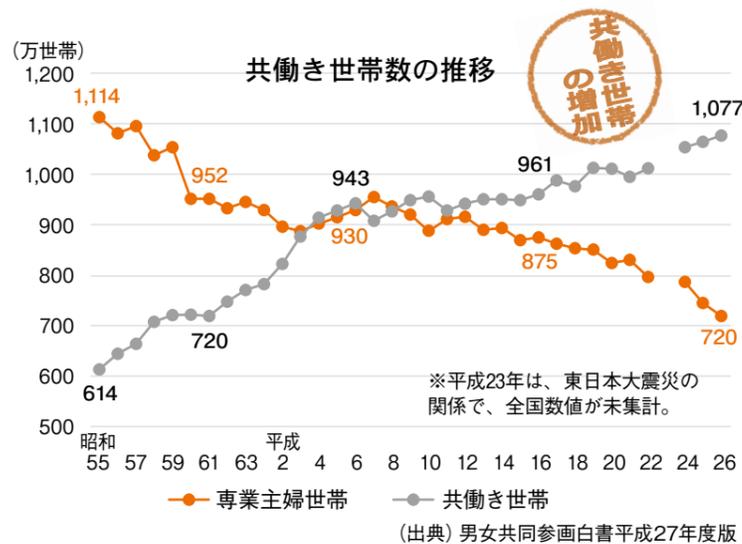


特集1

今、イクボスが求められている!?

人口減少や高齢化の中、働き手は減少し続けています。逆に、共働き世帯や介護を担う働き手は増加し、人材を確保し長く働き続けてもらうためには、仕事と私生活が両立できる職場、そして、そんな職場を作る経営者や上司がいることが不可欠になりつつあります。

問い合わせ先 女性こども課 (☎43-7216)



長く働き続けるため
イクボスのサポートを待っています!

広がるイクボスの輪
イクボス同盟ひろしま

働き方の見直しに取り組む企業経営者で構成し、意識改革に取り組んでいます。



イクボスに取り組む企業を紹介

(株)オガワエコノス

イクボス



堀 千奈美さん
オガワエコノスに入社13年。人事啓発グループ課長として、社員にも育児・介護参加を推進している。

Q. イクボスに取り組むことになったきっかけは?

弊社は、役員自らが、これからは社員のために育児と介護支援に力を入れる方針を決め、「広島県仕事と家庭の両立支援企業」としての登録がきっかけでした。育児や介護が理由で、仕事を続けられないということでは、お客様や同僚に対して迷惑を掛け、良い仕事ができないと思います。育児や介護が必要になっても働き続けられる環境を作っていくため、イクボスに取り組み始めました。

Q. 具体的には、どのような取り組みをされていますか?

「一名二役以上、一役二名以上」をキャッチフレーズに、誰かが急に休んでも別の人が対応でき

るような体制を構築しています。また、作業工程の中から、ムダな作業(慣例化していて目的が明確でない作業)を見つけ出して減らしていく取り組みを全社で行っています。残業時間が減ることで、帰宅して育児や家族と過ごす時間を増やすことにつながっていると思います。

Q. ずばり、良い効果がありましたか?

はい。少しずつですが、残業時間が減っています。「今までより30分早く帰れるようにしよう!」と部内で協力して、お互いの業務をカバーし合う職場風土ができつつあると思います。それが帰宅してから育児や介護のための時間を増やすことにつながっていると思います。

Q. 最後にこれから取り組みを始めようとしていらっしゃる皆さんにアドバイス(応援)をお願いします。

これからの将来を見据えて、育児・介護をしながらでも働き続けられる環境を構築したいという経営層の思いを現場がしっかり理解すること、現場主体で社員が知恵を出し合って作業効率を上げることが重要なポイントではないかと思っています。

具体的な取り組み
・ムダ取りチェックシート ・人事評価の見直し

広島県も応援しています!
イクボスのすすめ

広島県では、「仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現」を目指して、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めています。このためには、経営者や管理職の皆さんがイクボスとなり、積極的に「働き方改革」に取り組んでいく必要があります。ともにイクボスを実践し、企業を変え、社会を変えていきましょう!



湯崎英彦広島県知事
都道府県知事として、初の育休を取り、3人の子どもを育てるイクメン。イクボス同盟ひろしまの結成呼びかけ人となり、共に働き方改革に取り組むイクボスの輪を広げている。